

クイーン・メリー II が初寄港しました！

平成 31 年 3 月 1 日（金）、ひびきコンテナターミナルにラグジュアリー船「クイーン・メリー II」が初寄港しました。英国サウサンプトンを出発し、地中海、中近東、東アジアを経てサウサンプトンに戻る 95 日間のグランドクルーズの途中での寄港となりました。船会社のキュナード・ラインは、保有する客船に女王の名を冠することが許された世界で唯一のクルーズラインであり、同船は「洋上の宮殿」と形容されるほど美しい船です。今回のクルーズでは、日本国内の寄港地として北九州港が選ばれるという大変名誉なこととなりました。

当日は、「北九州港開港 130 周年」記念事業の一環として、ひびきコンテナターミナルを一般開放し、盛大に歓迎のイベントを行い、約 11,000 人もの市民のみなさまが来場されました。地元の学校、幼稚園児のみなさんによる演奏や演技など、さまざまなステージパフォーマンスや地元名産品のふるまいなどが行われました。

出港時には、若松区の五平太ばやし、八幡東区のねぶたまつりの共演で迫力のあるパフォーマンスが行われ、北九州港寄港への感謝の意を込めて、盛大な打ち上げ花火でお見送りし、クイーン・メリー II は済州島へ向けて出港しました。



クイーン・メリー II

船 社：キュナード・ライン（英）、総トン数：149,215GT、全長：345.00m、乗客定員：2,691 名

日 時：平成 31 年 3 月 1 日（金）10：30～19：40